

外観



長瀬産業は、1832(明治35)年、京都で創業した化学系専門商社。大阪本社・東京本社を構え、「名古屋支店」は名古屋市の中心部である中区に位置する7階建てビルとなる。

1F 女性トイレ



洗面は、ポーチなどが置けるツインデッキカウンターを採用。全フロアの女性トイレでは、カウンターをピンク色にし、優しい雰囲気を持つ、「女性らしい空間」を演出している。

7F だれでもトイレ 入口



女性トイレだったスペースを男女兼用のだれでもトイレに変更。性的マイノリティ配慮だけでなく、開口を従来より広げた引き戸に変更することで、車いす使用者でも利用できるように配慮されている。

7F だれでもトイレ



だれでもトイレでは、さまざまな身体状況の方の利用を想定し、手すりや背もたれを設置している。

2~6F 女性トイレ 洗面コーナー



2~6Fの女性トイレには、女性従業員数にあわせて、私物が置いておける小物入れを設置。さらに照明付鏡や全身鏡の設置など、身だしなみを整えるための工夫を充実させている。

2~6F 女性トイレ 大便器ブース



採光のため既設の窓を生かした、明るい大便器ブース。オフィスワーカーが息つける空間となっている。

改修前



清掃も行き届いており、きれいに保たれていたが、和式便器が残り、古い型の器具が使用されていた。

トイレ図面



7F 男性トイレ 洗面コーナー



男性トイレはカウンターの幅が広いスペースアップタイプのツインデッキカウンターを採用。ビジネスバックや資料などを置くことができる。

7F 男性トイレ 小便器コーナー



清掃性に優れた壁掛自動洗浄小便器を設置。1ヶ所には手すりをつけ、さまざまな方の利用に配慮している。

建築概要

名称 長瀬産業株式会社 名古屋支店
 所在地 名古屋市中区丸の内3-14-18
 施主 長瀬産業株式会社
 施工 株式会社竹中工務店
 竣工年月 (改修)2019年7月

水まわりの特長

<改修の経緯>
 長瀬産業は、1832(明治35)年創業という歴史を誇る、主に化粧品・医薬品事業を中心とした化学系専門複合商社である。世界的に優良な製品を日本国内で独占的に輸入販売する総代理店権を有し、そこで培った技術力・情報力・海外ネットワークを生かして、製造・加工、研究開発機能の強化を図りながら事業構造の転換を果たし、染料、化学品、合成樹脂、機械、電子材料、化粧品、健康食品、医療機器など幅広く輸出・輸入および国内販売を展開している。同社では、就業環境の改善を図るため、2015年には、大阪本社ビルの女性トイレを改修。このたび、「名古屋支店」では、全フロアのトイレの改修を実施した。

<トイレの特長>
 時代に即したトイレ環境の改善を図るため、トイレ空間を使いやすく拡充。大阪本社ビルのトイレ改修の実績を踏まえ、女性の働きやすい環境作りに注力し、スタイリングコーナーや小物入れキャビネットを設置した。また、男性トイレにも、手荷物配慮に優れたツインデッキカウンターを設置している。会議室などのある7Fには、車いす使用者や、性的マイノリティに配慮した男女兼用のトイレを新設している。